

第24期若手アカデミー活動報告 (2018年10月総会後～2019年3月)



主な活動 (1)

実施日	名称	内容、成果など
2018. 10/6	9th EU-Japan Science Policy Forum (京都)	若手アカデミーから岸村が参加。
10/6-9	STS Forum Annual Meeting 2019 (京都)	若手アカデミーから新福副代表がFuture Leaders Program、及び、本会議に参加。新福副代表は次年度の登壇者にも選出された。
10/27	公開シンポジウム「博士号所持者に求められること・求めること」	博士のキャリアパスについて、アカデミア、アカデミア外で活躍する方、行政官、就職活動支援企業の方などを交えて議論した。
11/5	若手研究者のための科学的助言能力構築ワークショップ (INGSAプレイベント)	若手アカデミー主催 で日学で開催。INGSAに参加するGYAメンバーや各国の研究者と若手アカデミーのメンバー、行政官などが協働してケーススタディなどに取り組み、どのような能力の開発が必要かを認識した。
11/7	政府に対する科学助言に関する国際ネットワーク第3回会合 (東京)	最終セッションで、11/5の能力開発ワークショップの報告と、その成果と若手アカデミーの取り組みとの関連性について発表する時間をいただいた。
12/1	公開シンポジウム「地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化－シチズンサイエンスを通じた地方課題解決への取り組み－ (青森県)」 (弘前)	シチズンサイエンスの企画を地方活性化の文脈で展開し、地方で推進されている事例に学び、今後の学術を展望した。意欲的な地方の学生とも交流する機会となった。
12/6	アジア学術会議	科学と社会委員会と若手アカデミーの合同セッション。西嶋メンバーが中心。Beyond SDGsの視点で学術と社会の関わり方についての議論に参加した。
12/22	日本学術会議 in 京都	分科会「若手研究者は科学・学術について何を考えているのか」を企画・運営。若手アカデミーの紹介を行うとともに、メンバーをパネリストとして、若手が直面する問題、学術界・大学の抱える問題、及びその将来展望について熱く議論した。
2019. 1/15	公開ワークショップ「地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化 - 地域を豊かにする学術: 新国富を中心に学術の街づくりへの貢献を考える - SDGsで地域活性 -」 (福岡)	学術の成果を街づくりなどに活かす観点で、行政や民間企業、一般市民の方に対して、社会と向き合う最新の科学研究の成果を共有し、学術成果に基づく新しいまちづくりや、エビデンスに基づく豊かさの追求などについて議論した。
3/2	公開ワークショップ「地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化: シチズンサイエンスを通じた地方課題解決～市民と科学者が“つながる場”について考える～」 (福岡)	シチズンサイエンスの企画を地方活性化の文脈で展開。科学者が市民と協働・共創する場の作り方を、既存の科学コミュニケーションの運営者や、行政、一般市民の方を交えて議論した。市民との密な交流がなされ、地域内・大学内での交流が盛んになる契機を得た。

第24期若手アカデミー活動報告 (2018年10月総会後～2019年3月)

主な活動 (2)

実施日	名称	内容、成果など
3/4	第6回全体会議（東京大学・浅野キャンパス）	2018年度後半の活動をふまえ、今後の活動について議論した。同時に、有志による研究交流会を実施。
12月～1月	文部科学省科学技術イノベーション政策を担当する省内の若手職員を対象にした研修会	研修会にゲスト参加し、政策立案のプロセスを経験するとともに、重要な話題について認識する場となった。
11月	『学術の動向』11月号特集1	社会連携分科会主導で、上述のシチズンサイエンスに関連した特集を企画。
1月	『学術の動向』1月号特集	ブダペスト宣言20周年を記念して若手アカデミーメンバーで座談会を実施。
3月	『学術の動向』3月号特集1	先のINGSAプレワークショップやINGSAへの参加を通じて得られた経験について寄稿した。

各分科会の活動：それぞれで分科会を開き、活発な議論を展開中。

分科会名称	審議内容、成果など
国際分科会	INGSAプレワークショップ、本年1/15の地域シンポジウムの企画・運営、アジア学術会議の運営、大学国際化関連で文科省でヒアリング、海外におけるデータ取得に関連してCITES機関の制度設計に関する検討会への参加、NYAネットワーク、GYA関連の活動を継続。国際化に成功している大学・地方を訪問、ヒアリングし、地方開催イベントにつなげる案が出ており、議論中。
若手による学術の未来検討分科会	博士人材活用に関するシンポジウムを日学講堂にて開催し、 同時にライブ配信を行い遠方の視聴者からも質問を受けつけた 。また、学術の将来（人材育成、継続性、多様性の維持など）に関する議論の準備などを継続して行っている。
若手科学者ネットワーク分科会	次年度の若手科学者サミットを企画（2019年10月頃に開催予定）。若手のネットワークをさらに広げるということについても議論をしている。
イノベーションに向けた社会連携分科会	シチズンサイエンスに関連したイベントを実施。その成果として、提言などの形で意見発出をする準備を開始した。

その他の案件

- 1名退会、1名新規加入があった。
- 岸村代表と新福副代表が文部科学省科学技術・学術審議会学術分科会の臨時委員に就任。

第24期若手アカデミー活動報告 (2018年10月総会後～2019年3月)

科学者委員会関連

委員会/分科会名称	内容、成果など
科学者委員会	軍事的安全保障研究声明に関するフォローアップ分科会 に若手アカデミーから2名が委員として参加。
男女共同参画分科会	「医療界における男女共同参画の推進と課題」に関するシンポジウムに登壇者紹介。若手アカデミーメンバーが作成に協力したアンケート結果をふまえ、秋にシンポ開催予定。
研究計画・研究資金検討分科会	マスタープラン関連の議論に参加、若手アカデミー内で情報共有した。
学術体制分科会	若手アカデミーから参画する委員が交代となった。
学術と教育分科会	地方大学、人文社会系学問分野、職業訓練を主たる業務とした大学の今後の在り方についての議論している旨が共有された。
学協会連携分科会	提言「学協会に係る法人制度一運用の見直し、改善等について」を若手アカデミー内で紹介し、議論した。
研究評価分科会	若手アカデミーから2名が委員として参加。